

4. 地方分権改革の旗手会議の紹介

「地方分権改革の旗手」の取組を推進しています!

1 「地方分権改革の旗手」になりませんか?

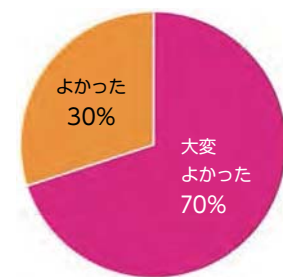
地方分権改革の最前線で活躍する地方公共団体関係者のネットワーク化を進めており、145名の方に「旗手」として登録いただいています(H28.12現在)。改革の推進に向けた各種情報交換・交流などを実施しています。

2 年1回程度「旗手会議」を開催し、ノウハウや問題意識を共有しています。



平成28年9月開催「旗手会議」での集合写真

参加者のアンケート結果
問 会議全般を通して



3 旗手会議の中で行っている取組の紹介

Point ①提案募集方式を学ぶ～有識者による基調講演～



西南学院大学 勢一智子教授
(地方分権改革有識者会議議員・
提案募集検討専門部会構成員)

平成28年9月に開催した「旗手会議」では、西南学院大学 勢一智子教授より「地方分権改革のポテンシャル ―提案募集方式への期待―」と題して、基調講演をいただきました。

【基調講演の概要】

- 提案募集方式の導入により、改革のイニシアチブが国から地方に移され、地方が主役となった。
- 国と地方の攻守交替により、多様性を活かした自治が可能となったことに期待を寄せるとともに、同方式の効果をさらに高めていく観点から、分権の種の在処、地方創生や広域連携との相乗効果を考える必要。



Point ②問題意識を共有しネットワークを広げる～ワークショップの実施～



ワークショップの風景

地方分権改革推進に向けて必要な地方公共団体の取組について、参加者同士で議論するワークショップを実施しました。

国への積極的な提案に向け、分権に関する庁内組織の整備や、若手職員や幹部向け研修の充実、内閣府と地方公共団体との分野別意見交換といったアイデアが発表されました。